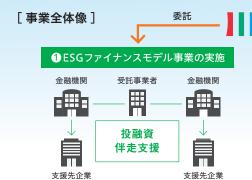
# ESGファイナンスモデル事業

E環境・S(社会・G企業統治の社会的インパクト(貢献度)を定量的に評価

大手企業が続々とサプライチェーン全体で脱炭素化に取り組むと宣言しており、中小企業もその取引先とし て選別される等の影響が出始めていることから、ESGに配慮した経営の重要性がますます大きくなってきて います。そこで本市では、中小企業の皆様にESGを考慮した経営の意義や必要性を認識いただき、普及促進さ れることを期待し、環境分野などのSDGsに資する事業に取り組む2社をモデル企業として、地域金融機関と 連携しながら、ESG要素を含む金融(ESGファイナンス)の活用が安定的な企業経営や企業価値向上につなが るよう支援し、外部機関による評価など事業の効果検証を行います。また、市内金融機関を対象とした「ESG 投融資研究会」を通じた知見共有や情報交換により、市内中小企業の皆様にESG経営の必要性を身近に感じ てもらい、積極的なESGファイナンスの活用が広がっていくよう取り組んでいます。

川崎市



#### ② ESG投融資研究会の開催

参画



#### モデル企業の取組

## 💸 岡村建興 株式会社

低炭素コンクリートの製造及び それを活用した製品の開発



業種: 土木工事業及びプレキャストコンクリート製品製造業 設立: 1947年(昭和22年) 所在地:川崎区

代表者: 代表取締役 岡村 清孝 従業員数: 133名

連携金融機関: 川崎信用金庫

#### 課題

生コン車で工事現場に運ばれたものの使用されずに戻さ れる「戻りコンクリート」の発生が、CO2排出量削減の観 点から課題

#### 取組

戻りコンクリート等 を原料にすることで 廃棄物削減等の環境に配慮し たプレキャストコンクリート製 品を製造



プレキャストコンクリート製品例

#### 社会的インパクトの創出

より低炭素なコンクリートの製造を実現し、そのビジネ スモデルを確立することで社会的課題解決につなげる

#### 代表者からのコメント

ESGファイナンスを受けるにあたり、 非財務面であるSDGs・ESGの取組の集 約やKPIの設定を通じて可視化するこ とで、課題や方向性について整理がで き、大変意義深いものとなっています。



岡村建興株式会社 代表取締役社長 岡村 清孝

### \* 株式会社 協和商会 太陽光パネルリユース・ リサイクル事業



業種:産業廃棄物処理業

所在地:川崎区

代表者:代表取締役 小川 信彦

従業員数:35名

設立:1958年(昭和33年)

連携金融機関:横浜銀行

#### 課題

固定価格買取制度(FIT制度)を契機に設置された太陽光 パネルの不法投棄や廃棄処理に伴う有害物質の流出等が 課題

#### 取組

使用済太陽光パネル のリユース事業及び ホットナイフを利用した環境 負荷の低いリサイクル事業の 実施



太陽光パネル

#### 社会的インパクトの創出

太陽光パネルの循環経済モデルを確立することで、環境負 荷削減を含めた社会課題解決へのインパクトを創出する

#### 代表者からのコメント

ESGファイナンスによる社会的なイン パクト創出に向けた今回の取組を通じ て、安定的な企業経営や企業価値の向上 につなげるとともに、地域の活性化にも 寄与していきたいと考えています。



株式会社協和商会 代表取締役社長 小川 信彦